

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/老年看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年看護援助論		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎 さやか 他	411	s.yamazaki	木曜日 14:40~16:10		
授業の目的・概要	老年期にある人の心身の特徴と生活過程の特徴を理解した上で、老年期における健康のあり方・健康課題の特徴を理解する。これら老年期の特徴を踏まえて、老年期にある人を全人的に捉え、well-beingを促進する援助方法および健康課題・老化に伴う機能障害に対する援助方法を理解する。人生の最終段階にある人が、その人らしく生を全うできるよう支援をするための臨床判断、倫理的判断に基づいた適切なケア方法を学修する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	老年看護学概論と連動した講義であるため老年看護学概論の復習をしてから受講すること。				
教科書	・ナッシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害(第6版)/編:堀内ふき 他 /Iディ出版 /2022 (1年次に購入した教科書) ・ナッシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践(第6版)/編:堀内ふき 他 /Iディ出版 /2023 [2冊指定]				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	高齢者の特徴をふまえたフィジカルアセスメントができる。		NS(1)(3)		
②	高齢者に特有な健康障害や疾患とその看護について理解できる。		NS(1)(3)		
③	人生の最終段階にある高齢者への看護について考えることができる。		HSU(1)(3), NS(1)(3)		
④	高齢者ケアの場で派生している倫理的課題の実際を理解し、看護職に必要とされる役割について考えることができる。		HSU(1)(3), NS(1)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	高齢者の特徴と生活を支える看護(食生活)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
2	高齢者の特徴と生活を支える看護(排泄)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
3	高齢者の特徴と生活を支える看護(清潔・衣生活)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
4	高齢者の特徴と生活を支える看護(活動と休息)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
5	高齢者の特徴と生活を支える看護(歩行・移動)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
6	高齢者の特徴と生活を支える看護(呼吸・循環機能障害)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
7	高齢者の特徴と生活を支える看護(その他高齢者に特徴的な疾患・症状)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
8	高齢者の特徴と生活を支える看護(高齢者のフィジカルアセスメント)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
9	高齢者の特徴と生活を支える看護(高齢者のフィジカルアセスメント)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
10	高齢者の特徴と生活を支える看護(高齢者のフィジカルアセスメント)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
11	高齢者の特徴と生活を支える看護(高齢者の死と医療・ケア)	講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
12	認知症高齢者の看護 (1) 認知症の病態と症状	講義・演習	認知症の病態と症状について教科書と講義資料を復習する。	1	
13	認知症高齢者の看護 (2) 認知症ケアの原則	講義	バーン・セター・ゲなどに基づいた認知症ケアについて復習する。	1	
14	認知症高齢者の看護 (3) 認知症ケアの原則	講義・演習	認知症高齢者の家族支援について講義内容を照らし合せて考える。	1	
15	高齢者施設における看護	講義・演習	講義内容を踏まえて高齢者施設で生活する高齢者のアセスメントと看護計画を作成する。	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/老年看護学】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	60	30	10	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	60	10	0	0	0	70	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5	
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を見発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
		評価のポイント					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①	✓	定期試験の範囲は講義全体を対象として出題する。定期試験で50点満点とする。					筆記試験の要点を解説する。
	②	✓						
	③							
	④							
レポート	①	✓	認知症高齢者の看護についてレポートを課す。					レポートに対するコメントを返す。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
成果発表	①		グループワークでの成果発表を課す。					成果発表後にコメントをする。
	②							
	③	✓						
	④	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①	✓	講義・演習への主体的な取り組みを評価する。					
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
備 考								
他担当教員	佐野 宏一朗、馬淵 路子 (認知症看護認定看護師)							
教員の実務経歴	科目責任者は、病院、有料老人ホーム、へき地巡回診療における看護師としての臨床経験を持ち、他の教員も看護師として豊富な臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	高齢者看護の経験を有する教員が、学生が主体的に考えることができる講義・演習を用いて、知識と技術の修得を目指す。							
その他	特になし							